

第4回資料選定検討委員会（2019年11月29日）における展示に対するご意見・ご指摘事項

分類	ご意見・ご指摘	回答（当日）	進捗・対応	備考
災害の始まり 〈1-1 事故前の暮らし〉	1 ○ 今回の災害で双葉郡における県立高校は実際消滅に近い状況になっているが、校舎は取り壊されず、当時の記録がそのまま残っている。それらの資料も残していきたい。	・県立高校における実物資料の収集は未着手であるが、先日、富岡高校の映像撮影を行ったところである。	・1月中旬に、富岡高校校舎、新体育館、記念館内に立ち入り、卒業生のメッセージや3月の予定表等、約20～30点程度の資料を収集済み。校舎外に設置されている全国総体の出場告知看板等、大型資料については、4月以降収集予定。	
	2 ○ 災害前にどこにどれだけの学校があったかなどの情報を出して行くことを検討してほしい。	・検討したい。	・「長期避難への対応」コーナー内タッチパネルにおいて、学校数の推移について取り上げを調整中。	
	3 ○ ふたば未来学園の学園祭において、各校の年史や様々な資料が展示されていたため、参考にするとうい。	・小学校に限らず、高校も含めた収集を検討していきたい。また、パネル等での説明も検討する。	・ふたば未来学園高校に確認したところ、休校中の4校の校旗（ふたば未来学園高校が管理）、富岡高校50周年記念誌（個人所有物）、4校の卒業アルバム（個人所有物）、その他県立図書館が保管している4校に関連した資料等を展示したとのこと。参考にして、教育庁、県立図書館と連携し、企画展等を検討したい。	
	4 ○ 「地域の伝統を伝える実物資料」について、被災地の成り立ちなどを万遍なく伝えることを検討いただきたい。	・被災地域を万遍なく収集していけるように検討する。	・浪江、双葉、富岡、大熊、相馬、南相馬、楡葉等の浜通り被災地域から特徴的な民俗芸能、祭り、昔話等に関する資料を収集済み。各自治体によって収集点数が異なるため、点数が少ない市町村については、今後調査・収集を検討している。	
	5 ○ 「原子力発電所の広報、地域との関係に関わる実物資料」について、なぜ福島県の沿岸部に原発が立地・建設されたかを説明するには、このコーナーしかないとする。	・プロローグ映像でも原発の立地について紹介する。 また、実物資料以外でも解説パネル等でも紹介する予定。	・回答済み	
	6 ○ 「原子力明るい未来のエネルギー」の看板は伝承館で展示されるべき資料だと考える。是非検討してほしい。	・具体的になると、この看板は大きいため、設置及び保存の観点などへの配慮も必要ことから、今後検討していきたい。	・企画展などで当時の写真パネルや文字盤の展示について検討したい。	
	7 ○ 原子力に対する想いとして、各自治体の町民歌にも原子力との関わりが表れているものがある。こういったものも扱うテーマとして検討したい。	・検討する。	・原子力との関わりがある資料の1つとして、各自治体の町民歌の内容を調査し、企画展等に生かしたい。	
災害の始まり 〈1-2 東日本大震災～地震と津波の記録～〉	8 ○ 津波の高さについて、なかなか理解することが難しいため、その高さを実感できるような工夫ができるとよい。	・検討する。	・津波の高さを施設敷地内に表示する等の検討を進める。	
	9 ○ 気仙沼の高校で、3階に車が突っ込んでいたのをそのまま保存しているので、参考とするとうい。	・近くにある震災遺構の請戸小学校もあるため、伝承館での扱いは検討したい。	・参考にした。	

第4回資料選定検討委員会（2019年11月29日）における展示に対するご意見・ご指摘事項

分類	ご意見・ご指摘	回答（当日）	進捗・対応	備考
原子力発電所事故直後の対応 〈2-1 避難の開始〉	10 ○被災当時、福島は非常に寒かった。実際に皮膚感覚で寒かった状況を実物資料と併せて伝えられるとよい。	・実際に体感してもらうことは難しいが、避難直後の写真や映像、キャプションなどで表現できればと考えている。	・避難所内を撮影した画像とともに、避難所から収集した毛布代わりに使用した暗幕やストーブ等の実物資料を展示検討中。	
	11 ○長期化の部分とも関係するかもしれないが、全国にわたる避難先の状況・生活などは紹介するか。いじめの問題などもあるため原子力災害の特徴や教訓として検討するとよい。	・避難先の状況に関する実物資料は未収集。全国に避難を余儀なくされた状況は紹介する予定である。また、「県民の想い」での証言映像などでも語られる部分はあり得る。	・全国への避難者数の推移については、「長期避難への対応」コーナーにおいて解説予定。生活の様子については、県外へ避難された方の証言映像の中で語られる予定。また、いじめについては、他県に避難した方から収集した日記、新聞記事等、既に収集済みの資料を原子力災害の教訓を伝える資料として検討している。	
	12 ○全国から制度的に支援をしてくれた内容などを見られるとよい。	・ご意見を踏まえて検討したい。	・ふるさと帰還通行カードや災害復興住宅融資のチラシ等、国や法人による制度的支援の一例と捉えている。	
	13 ○「避難の開始」はどこまでの時期を扱う予定か。また、どれだけの方が日本全国に散り散りに避難せざるを得なかったかなどの数を示せるとよい。	・「避難の開始」は避難所までで、仮設住宅からは長期化の扱いを想定している。数については得られる情報にもよるが「避難の開始」の部分で紹介することを検討する。	・「長期避難への対応」コーナー内「避難者数の推移」において、全国にどれだけの方が避難されたのか、推移を紹介する予定。	
〈2-2 県内に広がる不安〉	14 ○「県内に広がる不安」、「除染」、「研修・ワークショップ」などいるんなコーナーに線量計が候補として入っているが、個人で調達された線量計もある。	・「県内に広がる不安」というテーマに沿った展示としていきたい。	・「研修・ワークショップ」スペースで展示用として活用するほか、各コーナーテーマに沿った展示となるよう、引き続き展示場所を検討していきたい。	
	15 ○SPEEDIのデータについて収集できているか。当時かなり議論されていたため、関連資料として収集できるとよい。	・現状では展示予定が無い。ただし、パネルでの紹介も含めて情報収集を行っていきたい。	・パネルでの紹介の仕方について検討中。	
〈2-3 国内外の反応と支援〉	16 ○海外からの支援について、県内の高校に勤めていた外国人教員で、一度避難したが戻ってきている先生がいる。関連する資料を多く集めている人もいるため、それを提供してもらうことも検討してほしい。	・情報提供をもとに検討する。	・震災当時から現在まで、ALTとして双葉町の小中学校に勤務している外国籍の方に「海外からの支援」に関する情報や資料等を依頼済。	
長期化する原子力災害の影響 〈4-1 除染〉	17 ○伝承館でどこまで扱うかは不明だが、浪江・双葉で行われている除染と中通りの除染は異なるため、タイベックスーツなど注意して展示していかないと誤解が生まれる可能性がある。	・除染については、環境創造センターコミュニティとも連携して紹介の仕方は検討する。	・キャプションのつけ方に留意して展示することとしたい。	
	18 ○見せ方として、皇室関係の方が川内村を訪れたことを取り上げ、避難指示が解除され、人の出入りが自由になったことを示すというもの1つ。また、どこまで除染済、という地図やグラフと合わせて展示するなど。皇室関係の写真等が出せるかは別途確認が必要かと思うが…	・手続き等は確認する。	・現在、展示エリア内で使用予定の写真リストを整理中。展示箇所整理後、手続を確認したい。	

第4回資料選定検討委員会（2019年11月29日）における展示に対するご意見・ご指摘事項

分類	ご意見・ご指摘	回答（当日）	進捗・対応	備考
	19 ○震災発生当時、皇室関係の方が来られた。その時のことを展示で紹介する場合は宮内庁の確認が必要か。	・手続き等は確認する。	・現在、展示エリア内で使用予定の写真リストを整理中。 展示箇所整理後、手続きを確認したい。	
	20 ○除染、風評に絡むが、環境が回復されている経緯については紹介するか。	・除染のやり方だけではなく、帰還困難区域で続いている除染や中間貯蔵施設に関する事など情報を出していく予定である	・「除染」コーナー内の解説において、「空間線量率の推移」などで紹介予定。	
県民の想い (3-3 家族との思い出や地域生活との別れ)	21 ○襖などの大型の資料は現状の造作に収まるか。	・棚板を資料に合わせて調整するようにして対応する。	・実物展示候補資料のサイズ採寸を行っており、資料に合わせて棚板を作成することとしている。	
	22 ○証言映像は1本当たり何分程度か。また、地域は万遍なく入るか。	・3分程度で想定しており、3人の方に話していただくために一人当たり1分程度となる。証言者の地域は被害の大きさ等により、浜通りが多くなっているが、県内全域を取り上げるため、中通りと会津の証言者も含めるよう配慮した。	・回答済み	
	23 ○証言はテーマに沿った内容を話してもらっているか。	・証言映像は「県民の想い」に限らず各コーナーに設置されているが、それぞれテーマに沿った内容を話してもらっている。	・回答済み	
長期化する原子力災害の影響 (4-3 長期避難への対応)	24 ○各町が把握している範囲で構わないが、双葉郡の避難者数と同時に仮設住宅が県内のどこに何か所できているかがわかるとよい。県内の仮設住宅でも住民がバラバラになってしまった状況と仮設住宅そのものの状況（間取り等）もわかるとよい。	・現状ではあまり詳しく紹介できていないため、検討したい。避難者数などについては展示を予定している。	・市町村ごとの避難者数については、公表・非公表・カウントの仕方などにばらつきがあるため、展示が困難であると思慮。 仮設住宅の間取り等については、写真等の展示を検討中。	
その他	25 ○研究者インタビューの人数はどうなっているか。それによって内容が変わると思われる。	・現状は各方面から意見をいただいているため、人数は担当部局と連携して検討していきたい。	・各コーナーの内容について項目が整ったので、項目に沿った研究者の方について人選を進め、4月以降取材予定。	
	26 ○多言語化についてはどの程度対応するか。海外の方に誤解を生まないようにしていく必要がある。音声ガイドは必要になると考えている。	・全体的に基本、日・英は対応を予定している。ゾーンサイン、コーナーサインレベルは日英中韓など他施設を参考に検討している。その他の階層はタブレットなどでの対応を予定している。	・左記内容で進めている。	
	27 ○屋外展示はできるだけやった方が良く考えるが、可能なスペースはどの程度の広さなのか。仮設住宅そのものも展示できるとよい。	・アーカイブ広場や復興祈念公園などスペースは十分検討可能になるが、工事などの条件を確認しながら検討したい。仮設住宅の再利用については浪江町で宿泊体験などをやっていることもあるため、周辺自治体とも連携していきたい。	・屋外展示については、企画展での対応を検討していきたい。	
	28 ○仮設住宅の中でも良い建物と長期間過すには厳しい建物もある。			

東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設

第4回資料選定検討委員会（2019年11月29日）における展示に対するご意見・ご指摘事項

分類	ご意見・ご指摘	回答（当日）	進捗・対応	備考
29	○ 浜通り以外の被害は扱う予定か。また、いわきは4・11の余震で物資が途絶えるなどの被害があったため、時系列として扱えるかよい。	・地震の被害に関する部分は浜通り以外も扱うが、全体のバランスとしては浜通りが多くなっている。3・11以外の被害はバランスを見て検討していく。	・プロローグシアターエリアのスロープ年表において、取上を検討中。	
30	○ オープンの際にはマスコミが多く報道することになるが、目玉になる資料はあるか。それが一つでもあるとメッセージ性が高まり、来館者の満足度も高まる。		・原子力災害発生直後に1F内で冷却作業等の支援を行った双葉消防本部に関連する資料を目玉の1つとして調査・収集依頼中。	
31	○ 開館後に無料のパンフレット、リーフレットを作成することになると思うが、多くの言語を用意しておいた方がよい。また、有料かと思うが展示図録、ガイドブックなども少なくとも英語版は用意した方がよい。子ども用ガイドブックなども日・英を検討した方がよい。 ○ 博物館によくあるミュージアムショップはあるのか。また、ガイドブックと合わせて、各自治体が出している出版物等も置けるとよい。指定管理者に任せるよりは県が主導して進めてほしい。また、ガイドブック等もオープン当初にある方がよい。	・今後、伝承館の指定管理者と協議し、段階的に整備していくことも含めて検討していく。	・現在、開館までの広報用リーフレットを作成中であり、4月以降多言語化して活用予定。 ・ガイドブックについては、4月以降指定管理者と協議して段階的に準備していきたい。	